

# 慶應義塾大学 vs 筑波大学

9月22日(日)  
11:30K.O.  
たつこ

「失点が多すぎる」(慶大・須田芳正監督)  
前節の桐蔭大戦は1-4の敗戦。11節も順大に2-6と、ここ2試合で10失点は明らかに最終ラインに破綻をきたしている。夏場に守備面の改善を徹底的に図ったはずだけに、須田監督も頭が痛いところだろう。  
「前半の立ち上がりは自分たちのやりたいことができた」(須田監督)  
というように、8分に先制点を奪ったところまではよかった。しかし、18分、29分に失点し、前半のうちに逆転されてしまったのが誤算だった。  
「自分たちのミスで失点してしまったことが悪い、失点してから立ち直れないところも改善しなければいけない」(須田監督)  
まずは自信を取り戻したいところだが……。  
前節の中大戦は1-1の引き分けに終わった筑波大。ただ、アディショナルタイム6分にPKで同点に追いついただけに、チームとしてのムードはいい。  
前半28分に谷口彰悟(4年)が負傷交代というアクシデントもあり、前半はなかなか自分たちのペースで戦えなかったが、相手のビッグチャンスもなんとかしのぎ、後半は自分たちのペースに持ち込んだ。

「ある程度、ボールを持つことができた。攻める時間も長かった」(中山雅雄監督)  
というように、再開後は試合内容にも手応えを持っているが、そこでなかなかゴールを奪えないのか課題だ。「最後の部分を丁寧にやりすぎた」(中山監督)  
ボールをつないでも、シュートまでの形が少ない。「どこかで決断してシュートを打たないといけない」(中山監督)

警告3回: 松下純土、溝渕雄志(以上慶大)、谷口彰悟(筑波大)  
前回の対戦: 日程延期

慶大				筑波大			
23. 豊川	10. 武藤	11. 中野	18. 早川				
4. 保田		19. 若杉	17. 西村				
	32. 小坂		7. 葺本				
12. 福本	7. 淡野	20. 端山				1. 神倉	
	8. 松下		5. 車屋				
22. 久保		14. 前原	2. 田代				
3. 飯高	19. 溝渕	13. 曾山	12. 三丸				

# 早稲田大学 vs 流通経済大学

9月22日(日)  
13:50K.O.  
たつこ

守備が安定している早大だが、前節の東洋大戦は3-2の辛勝だった。  
「内容はともかく、勝点3を取れたことが大きい試合だった」(古賀聡監督)  
というように、最下位の東洋大に2失点とあって古賀監督も渋い表情だった。  
前半1分に先制点を奪ったものの、19分に同点に追いつかれると、43分には逆転弾を浴びた。一方で、後半は2点を加えて逆転勝利を収めたように、この粘り強さが今の早大の特長といえるだろう。  
「後半の終盤に運動量を生かして、攻撃に厚みを加えることができた」(古賀監督)  
これで首位・専大との差は2ポイント。  
「攻守の切り替えの早さ、相手へのプレスが弱かった時間帯があった」(古賀監督)  
という反省点を解消し、盤石の態勢で専大を追いたいところだ。  
「完敗」  
前節の明大戦後、流経大・中野雄二監督は一言発したあととガックリうなだれた。  
8月に行われた総理大臣杯決勝では、2点をリードさ

れながらも逆転する粘り強さを見せた。ところが、この日は淡泊な試合運びで、前半17分に先制点を奪われ、巻き返しを図る後半5分に2失点目。  
「明大のほうすべてにおいて上回っていたので、妥当な結果。悔しい思いを持った明大の選手が、必死になって戦ってきた。うちも必死じゃなかったわけではないが、なにか欠けた部分があった」(中野監督)  
リーグ戦はなかなか波に乗りきれない流経大。連敗だけは避けたいところだ。

前回の対戦: 早大3-0(シュート数11-6) 流経大

早大				流経大			
6. 三竿	24. 竹谷	7. 中山	3. 鈴木				
3. 金沢	10. 榎本		5. 川崎				
	5. 池西		24. 吉村				
1. 松澤		12. 久保	23. 森保	1. 八巻			
	4. 中田		32. 丸本				
2. 奥山	25. 宮本		15. 真辺				
12. 八角	18. 小松	6. 富田	2. 湯澤				

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想

## JR東日本カップ 2013 第87回 関東大学サッカーリーグ戦



# OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.25-NO.13 Division1



編集: 加茂郁実 発行: 関東大学サッカー連盟 協力: 関東大学サッカーサポーターズクラブ

### 国士大が首位・専大を破る!

折り返しに入った「JR東日本カップ2013 第87回関東大学サッカーリーグ戦」。ふた回り目の対戦となる中、各チームがどんな作戦で挑むのか注目されたが、実際、首位の専大が10位の国士大に敗れる波乱があった。その前節を振り返ってみよう。  
専大はDF河津良一(3年)の負傷欠場が響いたかもしれない。全体的にミスが多く、放ったシュートはわずかに6本。前半のアディショナルタイムには失点もし、0-1の敗戦は今リーグ初の完封負けとなった。国士大は後半戦に入って調子が上がってきた。

2位の早大は最下位・東洋大とのゲーム。こちらは打ち合いとなる難しい試合だったが、後半41分に勝ち越しゴールを挙げた早大が勝利を飾り、専大との勝点差を2に縮めた。東洋大は最下位から脱出できなかった。  
3位と健闘している桐蔭大は、ディフェンスがなかなか安定しない慶大との対戦。調子の差は顕著に表れ、慶大が前半8分に先制点を奪ったものの、その後、桐蔭大が巻き返して4ゴールと逆転勝利を挙げた。慶大は守備が相変わらず乱調で、1試合消化は少ないものの11位と低迷している。  
4位の日体大と残留争いの渦中にある順大のゲームは、順大が3点を奪って

**得点ランキング**

仲川 輝人(専大)	11点
長澤 和輝(専大)	8点
榎本 大希(早大)	7点
坪井 秀斗(桐蔭大)	7点
和泉 竜司(明大)	6点

**アシストランキング**

仲川 輝人(専大)	4アシスト
稲葉 圭吾(専大)	3アシスト
北爪 健吾(専大)	3アシスト
長澤 和輝(専大)	3アシスト
榎本 大希(早大)	3アシスト
原田 開(順大)	3アシスト

3-0の快勝。日体大は後半戦に入って足踏み状態だ。  
上位争いへの足がかりとして両チームともに大事な一戦となった中大 vs 筑波大は、前半35分に中大が先制点を挙げたものの、後半アディショナルタイム6分にPKから失点し勝点2を失った。筑波大は何か勝点1をゲット。  
再開後、なかなか力を発揮できなかった明大は流経大と対戦。この日は攻撃陣が好調で4ゴール。失点も1に抑えて後半戦初勝利を挙げた。  
優勝争い、残留争いとも、熾烈極まりない戦いが続いている。今節ではどのようなドラマが起きるのか!?

## JR東日本カップ 2013 [第87回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

第10節、慶大 vs 筑波大が延期のため暫定順位 日程未定

順位	チーム名	専大	早大	桐蔭大	明大	中大	日体大	順大	流経大	筑波大	国士大	慶大	東洋大	試合数	勝数	分敗	敗数	得点	失点	得失点差	勝点
1	専大	201	602	401	502	1Δ1	201	203	201	201	601	301	12	9	1	2	35	16	19	28	
2	早大	102	1Δ1	11月9日	11月2日	11月9日	10月6日	10月20日	9月22日	10月12日	9月28日	10月27日	10月27日	12	8	2	2	19	11	8	26
3	桐蔭大	206	1Δ1	11月17日	11月2日	11月9日	10月6日	10月20日	9月22日	10月12日	9月28日	10月27日	10月27日	12	6	2	4	21	19	2	20
4	明大	104	102	302	103	0Δ0	401	0Δ0	0Δ0	201	2Δ2	001	12	4	4	4	18	17	1	16	
5	中大	205	102	1Δ1	301	001	200	0Δ0	200	102	100	1Δ1	12	4	4	4	15	14	1	16	
6	日体大	1Δ1	1Δ1	001	0Δ0	100	1Δ1	200	203	100	102	301	12	4	4	4	13	13	0	16	
7	順大	102	100	203	104	002	1Δ1	0Δ0	103	500	602	2Δ2	12	4	3	5	23	19	4	15	
8	流経大	302	003	103	0Δ0	0Δ0	002	0Δ0	1Δ1	1Δ1	301	100	12	3	5	4	11	17	-6	14	
9	筑波大	102	001	100	0Δ0	002	302	301	1Δ1	102	未定	5Δ5	11	3	4	4	16	17	-1	13	
10	国士大	102	102	001	102	201	001	005	1Δ1	201	203	201	12	4	1	7	13	20	-7	13	
11	慶大	106	102	102	2Δ2	001	201	206	103	未定	302	201	11	3	1	7	16	30	-14	10	
12	東洋大	103	001	201	100	1Δ1	103	2Δ2	001	5Δ5	102	102	12	2	3	7	17	24	-7	9	

体育会学生のための  
リクナビ就職エージェント

# 戦いの中に、成長がある。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」  
http://job.rikunabi.com/agent/athlete/info02/

# 明治大学 vs 東洋大学

9月21日(土)  
11:30K.O.  
味フィ西

ようやく強さが戻ってきた。後半戦に入ってもなかなか勝ちきれない明大だったが、前節は流経大に4-1の勝利。総理大臣杯決勝(2-3)のリベンジを果たした。「前節の専大戦で、首位を走るチームと中位に甘んじるチームのサッカーに対する厳しさや精度、質といった差を見せつけられた。そのためシュートやシュートに対するディフェンス、連携など、単純なところを確認して臨んだ」(神川明彦監督)

セカンドボールを拾って、最終ラインも無理をせず切るところは切り、狙いとするルーズボールを拾った。「守備からリズムを作り、攻守にわたってボールを支配することができたので完勝だったと思う」(神川監督)最後に1失点したものの、本来の守備の安定が戻ってきたのが大きい。こういったサッカーができれば後半戦、台風の目になるのは間違いがない。

11節で桐蔭大に勝利を収め、反撃態勢が整ったかに見えた東洋大だが、前節は2位・早大を相手に善戦を繰り広げたが2-3の敗戦。「選手たちは戦ってくれたので、それが勝点につながらなくて残念」(古川毅監督)後半戦に入って1勝2敗。内容は前半戦に比べてワン

ラックアップしているが、それがなかなか結果に結びつかない。「90分を終えて、スコアで相手を上回っておかないと、どれだけ内容がよくても評価はされないスポーツ。いかに勝点3を取れるかだと思ふ。そういうところは改善していきたい」(古川監督)

攻撃力はだいぶアップしてきている、ここからはしっかり守りながら点を取っていくかだ。

警告3回: 山越康平(明大)、藤井悠太、馬渡和彰(以上東洋大)  
前回の対戦: 明大0-1(シュート数6-7)東洋大

明大		東洋大	
5. 小川	27. 石原	11. 黒須	7. 馬渡
4. 小出	22. 藤本	18. 小山	5. 藤井
	16. 差波		10. 桑田
1. 三浦			1. 浅沼
	6. 水野		6. 石川
3. 山越	8. 和泉	9. 三田	16. 筑井
12. 室屋	7. 梅内	15. 齊藤	14. 平石

# 中央大学 vs 桐蔭横浜大学

9月21日(土)  
11:30K.O.  
BMWス

後半戦、苦しい戦いが続いている中大。前節もゲームを支配しながら、後半のアディショナルタイム6分にPKから失点してしまい、1-1のドローに終わってしまった。

最後の場面は微妙なシーンだったものの、「そこも考慮して、前向きに捉えてやっていかなければいけない」(白須真介監督)

アディショナルタイムの失点は悔やまれるが、前半の圧倒的にゲームを支配している時間帯に追加点が奪えなかったのが痛かった。

「前半、追加点を奪えるビッグチャンスが2本あった。そこで2-0にできるかどうかが課題。チームとして改善していかなければいけない」(白須監督)

後半に入るとやや運動量が低下し、相手に主導権を握られる時間が長くなってしまったのも修正点だ。

「この悔しさは元に戻せないで、次に生かさないとはいけない」(白須監督)

3位をキープしている桐蔭大は、前節も慶大を相手に4-1の勝利。前半8分に先制点を奪われても焦ることなく、前半のうちに逆転に成功すると、後半も2点を追加。危なげない戦いで3位をキープした。

「交代した選手たちもよくやってくれていたし、みんなが諦めずに最後まで戦った点はよかった」(八城修監督)それでも、八城監督は気持ちを引き締める。

「取ったボールを失ったり、自分たちのボールを大事にできないシーンがあった。ゴールに直結する動きがまだ少ない。順位は3位だが、そこにあぐらをかいったり過信することがないように。まだまだチャレンジャーなので、しっかりと戦っていきたい」(八城監督)

警告3回: 細見諒(中大)  
前回の対戦: 中大1-1(シュート数3-6)桐蔭大

中大		桐蔭大	
6. 高瀬	7. 砂川	8. 山崎	3. 香西
12. 小出		20. 今関	4. 古澤
	8. 田辺		7. 平山
1. シュミット	25. 渋谷	19. 皆川	1. 島崎
	4. 細見		9. 大泉
24. 岡崎		10. 坪井	6. 福島
13. 鈴木	10. 澤田	11. 山根	16. 長谷

# 日本体育大学 vs 国士舘大学

9月21日(土)  
13:50K.O.  
味フィ西

前半戦は好成績を収めた日体大だが、後半戦は苦しんでいる。前節の順大戦も0-3の敗戦。前半戦のような守備力が発揮できていないのが問題だ。

「試合の入り方はそんなに悪くなかったと思うが、順大が徹底してブロックを作って引いて守ってきた。また、相手の攻撃に対して前半はある程度抑えられたと思うが、前半のロスタイムで入れられてしまい、そこでチームとして消極的になってしまった」(倉又寿雄監督)

相手の徹底した守備に手こずり、自分たちのリズムに持ち込むことができなかった。それでも、「ボールを奪ったあと、パスをつなげるようになったのが、以前よりはよくなった点だと思う」(倉又監督)というように、プラス材料もある。フィニッシュまで持ち込めるように、その攻撃面の精度を上げたい。

首位の専大を1-0で破った国士大。後半戦に入って2勝1分と、しっかり結果を残している。

前半戦に比べて大きく違うのはディフェンス面だ。専大にミスが多かったこともあったが、しっかりと最終ラインで相手の攻撃を守りきると、そこから攻撃へ一気に持ち込む。夏場の走り込みを経て、本来の国士大らしい走力が見られるようになったのが大きい。

内容自体は決して完璧ではなかった。相手のビッグチャンスが何度もあったが、そこで小澤章人(3年)がビッグセーブを見せ、まさにチーム一丸となって守った。得点時間が前半のアディショナルタイム2分だったように、最後まで集中力を切らすことなく戦えるようになったのも大きい。

今後もこういった粘り強さが発揮できれば、一気に上昇気流に乗る可能性は十分にある。

警告3回: 宮内啓汰、北脇健慈(以上日体大)  
前回の対戦: 日体大1-0(シュート数3-4)国士大

日体大		国士大	
19. 高野遼	15. 阿部	26. 佐々木	2. 石川
3. 広瀬	11. 北脇	16. 平松	5. 中井
	17. 小城		7. 橋本
1. 畠中			1. 小澤
	10. 稲垣		33. 池ヶ谷
29. 高野次	9. 田中	10. 新村	4. 今瀬
24. 横野	7. 梅村	14. 進藤	22. 藤峯

# 専修大学 vs 順天堂大学

9月21日(土)  
13:50K.O.  
BMWス

後半戦2連勝と順当に結果を出してきた専大だったが、前節は10位の国士大に0-1の敗戦。特に、ノーゴールに終わったのは今リーグ初ただだけに、そのショックは大きい。

相手の好セーブに阻まれた面もあるが、この日はミスが多すぎた。せっかく攻撃の態勢に入ってもミスが多く、すぐに守備に戻らなければいけないという、いったりきたりのサッカー。DF河津良一(3年)の負傷欠場も響き、終始、バタバタしたゲーム展開だった。

前半は攻撃が偏ってしまい、なかなか右サイドにボールがいかず、相手にとって守りやすかったという点も否めない。

「選手のうち、一人でもやろうとしないということになってしまう。また一からしっかりとやらなければいけない」(岩淵弘幹コーチ)

気持ちを切り替えて、このゲームに臨むことができるかどうか。

後半戦の初戦は2-3の敗戦を喫してしまった順大。苦しいスタートとなったが、11節で慶大に6-2の勝利を収めると、前節も日体大に3-0で勝利して連勝を飾った。

「連勝することが大事だったので、勝ててよかった。夏場にトレーニングを重ねてきたからこそ、こういった結果に結びつけることができた」(岡本一洋コーチ)

まだまだシュートの本数は少ないが、しっかりと守ってそこからチャンスを作り、かつゴールまで結びつける形を持っているのが大きい。ただ、試合によっては波もあるだけに、これが持続できるかどうか大きなカギを握るだろう。

警告3回: 前澤甲気(専大)、宮本和輝(順大)  
前回の対戦: 専大2-1(シュート数12-8)順大

専大		順大	
5. 山崎	11. 前澤	10. 井村	16. 吉永
3. 萩間			3. 清水
	8. 下田		6. 岡崎
1. 福島	13. 北出	7. 長澤	11. 原田
	14. 星野		8. 天野
2. 北爪			15. 青木
			5. 新井
12. 小口	10. 仲川	7. 和田	13. 宮本